

2023年6月 定時評議員会 議事録

1. 日 時 2023年6月15日(木) 17時00分～18時50分
2. 場 所 政治経済研究所会議室
3. 住 所 〒136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4

1. 出席者 会場での参加

建部正義(議長)、萩原伸次郎(登記上の名前:平野伸次郎)、北村浩
上原淳子、星野輝夫

Web 会議システムでの参加

大日方純夫、坂本暉正、前畑憲子
(評議員12名中8名出席)

理 事: 齊藤壽彦(代表理事)、合田寛、長谷川元彦
齋藤正美、石田博美、柳啓明(事務局長)
(理事10名6名出席)

監 事: 國吉昌晴

(監事2名中1名出席)

I 開会ならびに事務局説明

- ・事務局より、評議員12名中8名(オフライン5名、オンライン3名)が出席し定数を満たしたことが確認され、定刻通りの開催であることが告げられた。
- ・審議に先立ち、議事録署名人として大日方評議員と^{上原}前畑評議員が選任された。また、Web 会議システムにより出席者の音声・映像が即座に他の出席者に伝わり、出席者が一同に会するのと同様に適時的確な意見表明がお互いのできる状態となっていることを確認した。
- ・以下、建部評議員会会長を議長として会議の進行を行った。

II 招集者(代表理事)挨拶と法人運営の近況報告及び評議員・理事・監事の自己紹介

- ・会議招集者として齊藤代表理事より挨拶がなされ、法人の近況が説明された。
- ・出席した評議員・理事・監事が自己紹介を行った。

III 法人組織ならびに評議員会の概略説明

- ・柳理事より、公益財団法人における評議員会の位置づけを中心に説明が行われた。

IV 審議事項

第1号議題 2023年6月定期提出書類について

議案1 2022年度事業報告書について

齋藤正美・石田両執行理事は、2022年度事業報告書の内容について下記の通り報告を行い、評議員会に審議を求めた。

齋藤正美執行理事の担当: ①概況、②公益目的事業I(『政経研究』奨励賞、研究費配分、科学研究費による研究事業、研究成果の公表と刊行物の配布、調査研究の社会的還元事業、図書資料の整備、受託事業)、③収益事業等、④業務管理(会員、理事会、評議員会、研究委員会)、⑤組織整備(事務局および業務執行体制、調査研究体制、組織と労働環境の整備)。

石田執行理事の担当: 公益事業II①調査研究事業(「都内戦災殉難者霊名簿」・「東京大空襲・いのちの被災地図」を中心とした東京空襲の被害と避難に関する研究、空襲体験者の継承方法および「継承者」養成プログラムに関する研究、平和学習プログラムおよび教材の開発に関する研究: センターの展示・図録等の活用)、②博物館事業(新型コロナウイルス感染症拡大予防に関する対策、資料収集・保存に関する取り組み、展示の改善・修正に関する取り組み、オンライン事業への取り組み、継承者育成事業、イベントの開催、特別展・企画展の開催、学芸員実習生の受け入れ、「東京大空襲・戦災資料センターニュース」の発行、体験者の会、全国組織との連携、運営に関わる状況)。

評議員会は、2022年度事業報告書を、有効議席7名中7名の賛成で承認可決した。

議案2 2022年度決算書について

長谷川理事は、2022年度決算書について報告を行なった。特に、この一年間で現金預金を減らさずにきたこと、その理由としてセンターに対する大口の寄付があったことを報告した。そのうえで、評議員会に同決算書の審議を求めた。

評議員会は、2022年度決算書を、有効議席7名中7名の賛成で承認可決した。

議案3 監査報告書について

國吉監事は、2023年5月14日に実施した監事監査の結果について、提出した監査報告書に沿って説明し、業務・会計ともに適正に行われていると報告した。そのうえで、監査報告書の審議を求めた。

評議員会は、監査報告書を有効議席7名中7名の賛成で承認可決した。

第2号議題 評議員、理事、監事の改選について

議案1 評議員を改選する

齋藤正美理事は、次期評議員候補(上原淳子、大日方純夫、北村浩、萩原伸次郎(登記上の名前:平野伸次郎)、星野輝夫、山田朗、姉齒暁、上野教信、吉田敬一、木下雅英、工藤教和、合田寛)について紹介を行い、選任の可否について審議を求めた。審議の結果、有効議席7名中6名の賛成(1名保留)で承認可決した。

議案2 理事を改選する

齋藤正美理事は、次期理事候補(石田博美、大岡聡、太田三郎、齊藤壽彦、齋藤正美、長谷川元彦、比江島大和、柳啓明、福光寛)について紹介を行い、選任の可否について審議を求めた。審議の結果、有効議席7名中7名の賛成で承認可決した。

議案3 監事を改選する

齋藤正美理事は、次期監事候補（國吉昌晴、井上礎幸）について紹介を行い、選任の可否について審議を求めた。審議の結果、有効議席7名中7名の賛成で承認可決した。

第3号議第 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の変更について

議案1 「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の第3条および「別紙 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する支払基準」を変更する。

長谷川理事より、「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」の第3条および「別紙 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する支払基準」を下記の通り変更するとの提案を行い、その可否について審議を求めた。

理事会及び評議員会の会議手当を5,000円から6,000円に変更する。

報酬等を辞退した場合の規定を設ける。

定款第16条、第33条の規程にて無報酬について規定済みのため、表記を修正する。

評議員会は、この提案を有効議席7名中7名の賛成で承認可決した。

第4号議題 雨漏り修繕工事について

議案1 雨漏り修繕工事の経過と契約権限の理事会への付託について

齋藤正美理事より、大規模修繕委員会の審議内容が報告され、有限会社アーキッズ一級建築士事務所と雨漏り改修工事の契約を締結する権限を理事会に付託するよう評議員会に求め、その可否について審議を求めた。

評議員会は、有効議席7名中7名の賛成でこれを承認可決した。

IV 評議員による意見表明

坂本評議員より、負債の部における他会計からの繰り入れ額と貸貸会計における減価償却累計額の関連および、減価償却累計額から繰入額を差し引いた分が固定資産に振り替えられていることについて事実確認が行われ、くわえて、減価償却累計額は本来マンション等の建て替え費用のためにプールしなければならないが、研究所およびセンター会計に繰り入れられているので、その費用の将来に渡る展望について質問が行われた。長谷川理事は、坂本評議員と課題認識を共有するとともに、将来的には繰り入れを行わなくて済むような会計の構造をつくりたいとの展望を示した。

星野評議員より、財団の施設の施工を自身が会長を務める企業が担当していたことから、これが利益相反に当たらないか質問が行われた。柳理事は、前回評議員に選出された時点で理事会および評議員会は利益相反に当たらないと判断していることと、利益相反が生じる審議事項がある場合は個別に議決権が停止されるルールを確認した。

以上をもって、Web 会議システムを用いた本評議員会は、終始異常なく議案全部を終了した。

上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人および出席監事が押印する。

2023年 6月 26日
公益財団法人政治経済研究所

議長 建部 正義 

署名人 大日方純夫 

上原 淳子 

出席監事 國吉 昌晴 

(議長)



(評議員)



(監事)



2字訂正